千葉工業大学同窓会 第7回埼玉県支部総会の報告

2024年(令和6年)6月8日13時~17時、ヘリテイジ浦和 別所沼会館で第7回埼玉県支部の総会を開催いたしました。

参加者は、①大学から同窓会副会長・創造工学部 都市環境工学科教授 鎌田元弘先生(建築S55 卒)、同窓会事務長 竹内秀一様(機械H3卒)、記 念講演講師・工学部機械電子創成工学科教授 和田 豊先生 ②支部幹事会メンバー 江口栄一支部長 (工経S53卒)他5名 ③支部出席メンバー1 3名 総勢22名でした。



13時、春日克己(精密S54卒)の司会で始まり、江口支部長が支部挨拶として2年間を振り返った。来賓の同窓会副会長・教授の鎌田元弘先生より支部活性化のヒントを頂きました。同窓会事務長の竹内様からは新たな学科の改組等、本学の近況についてのご報告が有りました。



鎌田副会長 和田教授 竹内事務長



記 念 撮 影 江口支部長前列中央

議案審議

江口支部長より報告議案と計画議案の説明が行 われ、審議されました。

- ① 2022年・2023年度 活動報告・収支報告・監査報告 承認された。
- ② 2024年・2025年度 活動計画(案)・予算(案) 承認された。
- ③ 幹事・役員選出 承認された。

記念講演

『宇宙技術者育成のための

実践的宇宙教育の推進と宇宙工学研究の紹介』 工学部機械電子創成工学科

教授 和田 豊 先生

【和田先生は】大学の学部生のころからロケッ ト推進工学に興味を持たれ、自らロケットを作 り・打ち上げておられました。講演はロケットの 歴史から始まりました。

【講演概要】ロケットの祖先は中国で矢を飛ば すものから始まり、第二次世界大戦のドイツのV 2ロケット、旧ソ連・アメリカの競争へと進む。 戦後の日本では、糸川英夫先生の固体燃料ペンシ ルロケットから始まった。ロケットを水平に発射 するという画期的な発想での研究であった。ペン シルロケットは成長し、その成果は今日の日本の ロケットに繋がっている。和田先生も、北海道や 秋田などでのロケット開発・実験に携われている。

このように発展してきた日本の宇宙工学には、

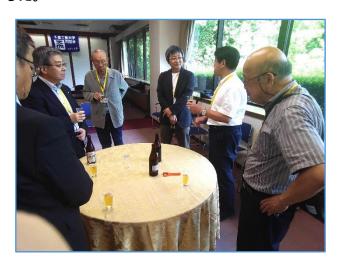
多くの研究者 はいるものの、 技術者が不足 している状況 にある。学生 たちを技術者 として育成す べく、自ら考 えてロケット

を製作する実践的な課題を学生に与えている。例 えば、『海上からロボットを搭載したロケットを 発射。ロボットは海上で、パラシュートで降下し、 着水後は海を泳いで浜までたどり着く』システム などである。そして、本年4月には、学部生が作 った小型衛星『KASHIWA』が国際宇宙ステーショ ンから宇宙に放たれた。

懇親会



鎌田同窓会副会長の乾杯の音頭で懇親会は始ま りました。記念講演の熱がそのまま懇親会に!! 和田先生の周りでは宇宙への思いが語られていま した。



楽しい会話に時間を忘れ、気づくと2時間が過 ぎ、お開きの時間。副支部長桑原昭博(土木S48 卒)の締めの挨拶と校歌を聞き、散会しました。

